

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホームたちばなの園白糸台		施設番号	K203
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
ご利用者の尊厳を守り、サービスの一層の充実を心掛け、職員を含めた関係者が働きやすい笑顔のある職場環境の再構築について	<p>権利擁護委員会から課題を出しフロアで話し合ったり、他職種間で相互に振り返ったり、下半期より月間目標も立てている。</p> <p>忙しいようにしている職員をみると相談や頼み事をしたくてもできない環境に繋がるため、「余裕をもって仕事ができる」視点でマニュアルを見直す方向性が示されている。</p> <p>施設長の職員を慰労したい思いは福祉課ミーティングでも発せられているが、例年と同様の様式は新型コロナウイルスの感染拡大防止とは相反する。ご利用者の尊厳を守り、サービスの一層の充実を心掛け、職員を含めた関係者が働きやすい笑顔のある職場環境の再構築が望まれる。</p>	<p>ご利用者が安全、安心また楽しく生活し職員もやりがいをもって仕事ができるように権利擁護委員会とフロアミーティングで話し合いをもって取組んでいる。</p> <p>フロア内のマニュアルはあるが、まだ余裕をもってのマニュアルの見直しまではまだ作成できていない。</p> <p>新型コロナウイルスで制限されてしまうことがあるが、感染対策をしっかり行い、できる限りご利用者、職員が楽しくやりがいをもってのよう行事等行っている。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和3年9月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。 マニュアル作成以外は実施済みである。引き続き、今後ご利用者に楽しく過ごしていただくことを考え、余裕をもってご利用者と関わられるマニュアルを作成していく。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
新しい取り組みに対する人材育成の更なる「前向きな」充実について	<p>ご利用者の聞き取り調査に訪問した際に、施設長は「着任時の印象は後ろ向き、今年から常に前向き」と施設運営に対する熱い思いを冒頭に話されていた。</p> <p>介護職員の機能訓練技能の更なる向上を目指す「機能訓練委員会」、本格導入されたリフトの技能や食事介助技術の向上を目指す「技能向上委員会」、ご利用者のニーズ充足を目指す「あそびクラブ」等の発足、排泄ケアの見直し等の取り組みもある。</p> <p>経営層は、職員の定着率の向上および職員教育の充実を目指しており、新しい取り組みに対する人材育成の更なる「前向きな」充実が期待される。</p>	<p>以前は介護職員=介護と考えていたが、機能訓練委員会では、介護職員による生活リハビリの実施。</p> <p>技能向上委員会では介護全般の技能向上、令和2年度はリフトの研修やマニュアル作成に努めた。</p> <p>あそびクラブについても、高齢者との型にはまらず、テレビゲームを行いご利用者からは大変好評だった。その他にも排泄については、ご利用者の負担のなく、できる限りトイレで自然な排泄が行えるようにオムツの会社の協力のもと取組んでいる。</p> <p>排泄の見直しの結果令和2年度は紙パンツから布パンツのに変更できたご利用者が4名いて、その中のご利用者からは「もう布のパンツ何って履けると思わなかった」などの声が聞かれた。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和 年 月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。 今後も積極的に取組んでいく。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
新体制の手腕が本格的に発揮されるこれからのについて	<p>運営上重要な課題は、業務連絡会、各委員会等で検討・協議後文書により施設長又は理事長が決議している。</p> <p>リーダー層職員は事業所が目指していることを理解できていると感じているが、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を明示するリーダーシップを発揮している点については個別の職員自己評価を実施した時点においては温度差がみられていた。</p> <p>今年度は栄養部門の所管や宿直業務の福祉課への移管、新型コロナウイルスへの引き続きの対応、年度途中の福祉課内の人事等もあった。</p> <p>新体制の手腕が本格的に発揮されるこれからのに期待したい。</p>	<p>運営上の重要事項は会議の中で協議し決裁している。</p> <p>事業所の目指していることについても、介護職員=介護という考えはリーダー層と一定の職員は理解しているが、しっかり職員全員が共通した認識になるように話し合いの場(各部署のミーティングや内部研修の事業計画等)を設ける等して取組んでいく。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和3年5月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。 令和3年4月には内部研修で施設長から事業計画の説明を行い、共有した認識になるように取組んでいる。6月にも、内部研修の中で事業報告を行い、意識を高めていく。 今後も、各部署のミーティングで話し合いの場を設ける等、取組みサービス向上に努めていく。</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。